

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	加古川総合保健センター管理負担事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	昭和60年度 ~ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	加古川総合保健センターは、平成27年1月にJR加古川駅北に移転しており、交通利便性が向上し、利用可能面積も広がった。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	JR加古川駅に近く、大人数の収容が可能な同一会場を確保することで、利用者の利便性を考慮しながら、計画的な健診等を実施する。
対象 ※誰、何に対して	加古川総合保健センター内のウェルネージホール等で実施する健診や相談、ふれあい教室等に参加する住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市が専用利用している加古川総合保健センター内のウェルネージホール等にかかる管理費用分等に対し負担金を支出する。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	10,237 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	10,237 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	10,649 千円	10,739 千円	10,237 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	健康増進活動の充実を図るための拠点施設として活用していくことが必要であり、利用にあたり市として管理費用等を負担することは妥当であるため、継続して実施していくことが望ましいと考える。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	加古川総合保健センター管理負担事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
施設数	施設	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川総合保健センター市利用部分負担金	千円	10,629	10,658	10,217
活動指標分析結果	駐車場使用料等の経費が減少したため、負担金はやや減額となった。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
加古川総合保健センター市利用部分使用日数	日	205	203	214	令和3年度	200
成果指標分析結果	平日の使用が大半だが、毎年200日以上は利用しており、稼働率は高いことから、有効利用できている。					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	口腔衛生推進事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	平成18年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	口腔に関する知識を深め、口や歯の健康と健全な健康づくりの充実を図るため、事業に要する費用の2分の1に対し、予算の範囲内で支援している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	口腔に関する知識を深め、口や歯の健康を守り、全身状態を良好に保つことで、健全な健康づくりの充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	播磨歯科医師会が実施する歯科衛生診療等に参加する住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	播磨歯科医師会が実施する口から始まる健康づくり推進事業に要する費用の2分の1に対し、予算の範囲内で補助金を支出する。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	5,000 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	5,000 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	5,000 千円	5,000 千円	5,000 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 口と歯の健康づくりの分野は、専門知識を持った歯科医師等の意見や援助が必要不可欠であるため、継続して事業を実施していくべきである。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	口腔衛生推進事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口(10/1付住民基本台帳人口)	人	265,897	264,508	263,241

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地域歯科保健分野活動回数	回	22	18	14
学校歯科保健分野活動回数	回	9	9	5
活動指標分析結果	年間を通じて、月に2回程度の活動を行っている。なお、当年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため活動の一部を中止している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
イベント等参加者数	人	713	650	114	令和3年度	700
成果指標分析結果	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、講演会等を一部中止・書面開催したことにより、当年度の参加者数は減少している。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	地域保健医療情報システム事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	平成1年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	当初は健康管理のみを中心に運用を開始したが、機能を充実させてきた結果、現在、成人保健システムや感染症情報提供システム、介護保険の認定審査で利用する主治医意見書システム等、複合的な機能を備えたシステムとなっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域住民が安心して健康で豊かな生活を送ることができるよう、地域医療環境を支援するシステムの基盤整備を行う。
対象 ※誰、何に対して	地域保健医療情報システムに蓄積された健康及び医療データの閲覧等に同意した加古川市、稲美町及び播磨町の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	同意書やカインドカードの配布回収業務や、新規参画医療機関の確保、各種システムの改良及び保守業務等に加え、健診データも活用する必要性があることから、加古川総合保健センターに委託し実施している。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	72,081 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	72,081 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	030 地域保健医療情報システム事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	74,104 千円	74,790 千円	72,081 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	医師不足や少子高齢化社会の進行に伴い、地域医療の充実が求められる中、地域医療情報システムのより良い運用について、加古川総合保健センター等関係機関との調整が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	地域保健医療情報システム事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地域保健医療情報システム登録者数	人	161,534	153,290	156,690
加古川地域医療機関	件	203	200	201

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地域保健医療情報システムのデータ閲覧に同意した加古川市、稲美町及び播磨町の住民	人	59,849	53,078	53,784
地域保健医療情報システムに参画している加古川地域医療機関	件	133	130	131
活動指標分析結果	システムのデータ閲覧に同意した人数及び参画医療機関の数は、ほぼ前年度から変わっていない。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
地域保健医療情報システム同意率	%	37	35	34	令和4年度	50
地域保健医療情報システム参画医療機関率	%	66	65	65	令和4年度	80
成果指標分析結果	同意率は40%弱、参画医療機関率は70%弱に留まっており、更なる向上を図る必要がある。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	健康診査事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	市民健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	昭和58年度 ～ 永年
事業区分	④義務的施策事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法

【事業概要】

現状と課題	子宮・乳がん、肝炎ウイルス検診の無料対象年齢の縮小で、受診者が減少した為、歯周病検診の無料化、肝炎ウイルス検診の個別再勧奨や、令和元年度から特定年齢の人へ子宮・乳がんの個別勧奨を実施し、受診率は一旦向上したが、新たな感染症の影響で子宮がん以外の受診率は低下した。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	より多くの市民ががん検診等を受診することで、疾病の予防および早期発見、早期治療の推進を図る。
対象 ※誰、何に対して	18歳以上の市民（各検診項目により対象年齢は異なる）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	がん検診等を実施し、ちらしの配布や広報等による周知を図るとともに、特定年齢の者に検診無料クーポン券等を送付するなどして受診を促進する。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	113,578 千円	
財源内訳	国庫支出金	2,508 千円
	県支出金	15,539 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	95,531 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	02 予防費
細目	015 保健推進事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	112,621 千円	125,223 千円	113,578 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>法に基づく義務的事业。検診受診率の維持・向上のためには、対象者への個別勧奨や検診費用自己負担の無料化が有効であるが、検診委託料等のコストが必要となる。平成26年度以降、がん検診事業等に対する国庫補助縮小に伴い、自己負担金が生じたこと等により、各がん検診の受診率は減少傾向にある。今後、受診率向上に向け、個別通知や再勧奨など効果的な普及啓発を行うことが必要である。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	健康診査事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	市民健康課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象数（20歳以上の女性）	人	81,608	80,183	79,157
対象数（40歳以上の女性）	人	54,587	53,675	53,063

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
子宮がん検診受診者数	人	2,674	3,632	2,813
乳がん検診受診者数	人	2,922	3,552	2,154
活動指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、検診の中止や感染予防対策実施のための受診枠の制限等があり、受診者数は減少した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
子宮がん検診受診率	%	6.9	7.9	8.1	令和4年度	25
乳がん検診受診率	%	11.5	12	10.7	令和4年度	25
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響で個別勧奨が予定どおり行えなかったり、3密防止等の感染拡大予防対策による受診枠の制限や受診控えで受診率は全般的に下がった。一方、個別検診を行える子宮がん検診については個別通知の受診勧奨を行ったため、受診率はわずかに上がっている。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	自殺予防事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	市民健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	平成22年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	自殺対策基本法、自殺総合対策大綱、兵庫県自殺対策計画、加古川市自殺対策計画

【事業概要】

現状と課題	自殺者数は、平成26年以降40人前後で推移していたが、令和元年は46人、令和2年は39人となっている。また、令和2年は20歳代、40歳代、50歳代の働き盛りの男性や、60歳代以上の高齢者の自殺者の割合が高い。（*自殺者数は厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」参照）
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	自殺者数の減少を目指す。
対象 ※誰、何に対して	加古川市内に在住している市民及び、関係団体。（学校、相談機関、企業を含む。）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	1) ゲートキーパー養成研修を開催。2) 自殺予防に関する健康教育・普及啓発を実施。3) 各種自殺統計による分析を行い、自殺に関する加古川市の現状を把握。4) 加古川市自殺対策推進本部会議及び連絡会議等にて、情報共有・交換。5) こころの健康相談・支援の実施。6) 自殺未遂者支援のため事例検討会を開催。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	957 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	560 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	397 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	03 民生費
項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費
細目	065 自殺予防事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	3,890 千円	1,543 千円	957 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	全国・県では自殺による死亡者が減少傾向にあったが、令和2年は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、増加となった。加古川市においては、平成26年以降、横ばい状態が続いていたところ、令和2年の自殺死亡率は全国・県に比べ低く、計画の目標値に達しているが、今後増加する可能性もあるため、引き続き対応が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	自殺予防事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	市民健康課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口(10/1付住民基本台帳人口)	人	265,897	264,847	263,524

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ゲートキーパー養成研修参加人数	人	638	1,469	507
自殺予防に関する健康教育参加人数	人	803	0	0
普及啓発媒体の配布	部	0	12,790	20,221
活動指標分析結果	指標1については、新型コロナウイルス感染症の拡大のため庁外でのゲートキーパー養成研修を実施できないこともあったが、庁内の職場人権研修などに取り入れてもらうことで計画通りの養成ができた。指標3は、相談先カードや啓発ちらしの配布など計画数には及ばなかったものの、昨年よりも拡充して実施できた。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
自殺死亡率(人口10万人対)	人	19.8	17.3	14.8	令和5年度	14.8
成果指標分析結果	加古川市の自殺死亡率は、平成26年に大きく減少したが、平成29年以降は、全国・県を上回ってきた。令和2年は14.8と大きく減少したが、新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化や経済的な影響などにより自殺者の増加が懸念され、今後も対応が必要である。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	市民ヘルスケア補助事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	平成19年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	住民の主体的な健康づくりや疾病の早期発見、早期治療の意識を促すため、健康や医療に関する幅広いテーマでの講演、講習等を行っており、事業に要する費用の2分の1に対し、予算の範囲内で支援している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	健康や医療に関する幅広いテーマでの講演、講習等を行うことで、住民の主体的な健康づくりや疾病の早期発見、早期治療の意識を促す。
対象 ※誰、何に対して	加古川医師会が実施する各種健康に関する講演会等に参加する住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川医師会が実施する市民ヘルスケア支援事業に要する費用の2分の1に対し、予算の範囲内で補助金を支出する。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	5,743 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	5,743 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	9,000 千円	9,000 千円	5,743 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	健康や医療に関連する分野は、専門知識を持った医師等の意見や援助が必要不可欠であるため、継続して事業を実施していくべきである。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	市民ヘルスケア補助事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口(10/1付住民基本台帳人口)	人	265,897	264,508	263,241

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
健康分野活動回数	回	76	70	39
医療分野活動回数	回	88	71	57
活動指標分析結果	活動分野の多寡はあるが、年間を通じて週に2回程度の割合で活動を行っている。なお、当年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため活動の一部を中止している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
イベント等参加者数	人	1,121	1,017	218	令和3年度	1,100
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、講習会等を一部中止したことにより、当年度の参加者数は減少している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	兵庫県健康大学加古川講座負担事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	昭和50年度 ~ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	行政の一部負担額を変更することなく、事業開始当初からこれまで、同様の支援を継続している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	健康づくりに関する知識を医師等の専門家から提供することで、より健康に対する意識の向上を図り、自主的な健康づくりを促す。
対象 ※誰、何に対して	健康に関する講座を希望する加古川市、稲美町及び播磨町の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	兵庫県医師会が加古川医師会に委託している、健康に関する講座開設事業に対し、負担金を支出する。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	0千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	240千円	240千円	0千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	兵庫県が実施主体である事業ではあるものの、住民の健康づくりのため、県とともに継続して支援を行っていくべきであると考え、実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、新しい方式での実施について検討する。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	兵庫県健康大学加古川講座負担事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
健康に関する講座を希望する加古川市、稲美町及び播磨町の住民	人	97	102	0

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
健康大学開講回数	回	17	17	0
活動指標分析結果	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止したため実績はゼロとなっている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
健康大学平均参加数	人	80	83	0	令和3年度	100
成果指標分析結果	例年、平均参加数が80人以上で推移しているが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止したため実績はゼロとなっている。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	健康づくり支援事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	市民健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	平成26年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	健康増進法

【事業概要】

現状と課題	第2次健康増進計画の基本目標である「健康寿命の延伸」を達成するためには、バランスのよい食事、適度な運動、禁煙などのよりよい生活習慣の実践による生活習慣病の発症予防や重症化予防への取組が重要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	『ウェルネスプランかこがわー第2次健康増進計画・第2次食育推進計画ー』に基づき、市民の主体的な健康づくりへの取組を支援し、生活習慣病の予防及び心身機能の維持向上を図ることを目的とする。
対象 ※誰、何に対して	加古川市民350人（健康づくりコース・禁煙チャレンジコース合わせて）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	広報・ホームページ等で周知し、参加者を募集。参加者自身が健康づくりの目標を設定し、3か月間健康づくりに取り組む。禁煙チャレンジコースを新設し、健康づくりコースとの2コース制（重複申込可）。期間内に健康情報を提供し、目標達成を支援する。また、インセンティブとしてウェルビーポイント（1人50ポイント）の付与及び健康グッズ等を送付する。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	308 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	308 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	02 予防費
細目	015 保健推進事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	404 千円	285 千円	308 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	「ウェルネスプランかこがわ（第2次健康増進計画・第2次食育推進計画）」を推進するためには、市民の主体的な健康づくりへの取組みを支援するしくみを継続して実施する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	健康づくり支援事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	市民健康課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口(4/1付住民基本台帳人口)	人	266,154	264,847	263,524

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
健康情報の提供回数	回	3	3	3
健康に関する教室の実施回数	回	3	4	0
活動指標分析結果	平成26年度から実施。事業実施期間である前期・後期各3か月間に、事業参加者に対して「健康だより」をそれぞれ3回送付し健康情報の提供を行い目標達成への意識を高めた。健康に関する教室の開催は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から全て中止とした。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
事業参加者数	人	311	216	287	令和2年度	300
目標・取組み達成者率	%	60.1	63.8	80.5	令和2年度	70
成果指標分析結果	事業参加者は健康づくりコース268人、禁煙チャレンジコース19人、計287人で、両コースの重複参加は4人、前期後期継続参加者は64人だった。目標達成率は前期後期合計で80.5%となり、前期後期継続者の92.2%に対し未継続者は68.8%で、前期後期継続して取り組んだ参加者の方が高い結果となった。					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	かこがわ健康ウォーキング事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	市民健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康管理を充実し、病気の予防を図る
事業実施期間	令和元年度 ~ 令和2年度
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	健康増進法

【事業概要】

現状と課題	アプリの利用は利便性が高いが、一方でアプリの操作等が苦手な方や、機種によっては対応できない等の課題がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	ウェルビーポイントをインセンティブとし、ウォーキングを主とした運動を習慣化することを目的とする。また、歩数を客観的に把握するため、同一のアプリを活用するものとする。
対象 ※誰、何に対して	18歳以上の加古川市在住・在勤・在学の者のうち、日本ユニシス(株)が作成したアプリのインストールが可能なスマートフォンを所持していること等の要件を充たす300人。令和2年度より市内在勤・在学も対象に含め拡充した。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	広報・ホームページ・町内会回覧及び公民館等にチラシを設置し、参加者を募集。平均歩数プラス1,000歩以上を1日の目標として設定し、21週にわたってウォーキングを実施。その間健康だよりを2回送付。1週間の歩数が1日の目標歩数×7日を超えていれば、1週間につきウェルビーポイントを50ポイント付与する。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	389千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	389千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	02 予防費
細目	080 かこがわ健康ウォーキング事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	0千円	367千円	389千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>令和3年度より健康づくり支援事業と統合する。参加者増加を目指し、周知方法の変更を検討する必要がある。アプリの利用については利便性が高いが、一方でアプリの操作等が苦手な方や、機種によっては対応できない等の課題がある。また、日本ユニシス(株)との共同研究事業として、無料でアプリが利用できるのは令和3年度までであるため、他の媒体や事業実施方法についても検討を要する。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	かこがわ健康ウォーキング事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	市民健康課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市18歳以上人口(4/1付住民基本台帳人口)	人	0	222,398	222,170

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
健康情報の提供回数	回	0	2	2
健康に関する教室の実施回数	回	0	3	0
活動指標分析結果	令和元年度から実施。事業実施期間である5か月間に、事業参加者に対して「健康だより」を2回送付し健康情報の提供を行い、目標達成への意識を高めた。健康に関する教室の開催は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から全て中止とした。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
事業参加者数	人	0	124	287	令和2年度	300
目標・取組み達成者率	%	0	45.5	39.5	令和2年度	70
成果指標分析結果	事業参加者は287人で、毎週の目標達成率の平均値は39.5%であった。目標達成率は65歳以上が63.6%、64歳以下は32.3%で、1週も目標達成していない人の割合は、令和元年度が20.2%、令和2年度が31.4%となっており、働き世代の歩数増加が課題である。					